

## 米空軍創設75周年を祝う(1) *Yokota celebrates the 75th U.S. Air Force Anniversary*

September 22, 2022

By Staff Sgt. Jessica Avallone  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)9月18日、横田基地で行われた空軍創設75周年を祝う「エアフォース・ボール(空軍舞踏会)」で、開会のあいさつを述べる第374空輸航空団司令官アンドリュー・L・ラダン大佐。「エアフォース・ボール」は、空軍75年の歴史の節目と功績を振り返る機会となった。



1

(写真2)最もキャリアの長い空兵と入隊したての空兵と共にケーキカットを行う第374空輸航空団司令官アンドリュー・L・ラダン大佐(左)、同航空団最先任上級曹長ジェリー・ダン最上級曹長(右)。

最もキャリアの長い空兵と入隊したての空兵がケーキカットを行うのは米空軍の伝統となっている。



2

(写真3)和太鼓を共演する横田サムライ太鼓と八王子陣馬太鼓のチーム。

横田サムライ太鼓チームは2004年に発足して以来、和太鼓の演奏を通じて関東周辺地域の振興に取り組んでいる。



3

## 米空軍創設75周年を祝う(2) *Yokota celebrates the 75th U.S. Air Force Anniversary*

September 22, 2022

By Staff Sgt. Jessica Avallone  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4)9月18日、横田基地で行われた空軍創設75周年を祝う「エアフォース・ボール(空軍舞踏会)」で、浴衣姿で踊りを披露する横田七夕ダンサーズ。メンバーは軍人の配偶者で構成されている。

横田七夕ダンサーズは1973年に結成し、横田基地と日本のコミュニティとの親善と友好を促進することを目的に活動を行っている。



4

(写真5)鏡開きをする第374空輸航空団司令官アンドリュー・L・ラダン大佐(左)と同空輸航空団最先任上級曹長ジェリー・ダン最上級曹長(右)。酒樽の蓋を木槌で開くことは、「運を開く」といった意味をもっている。



5

(写真6)天井から舞い落ちる風船。参加者たちは、横田や近隣の日本のコミュニティからの参加者との交流を通じて、更に親交を深めることができた。



6